

33 ヒメクイナ

(ツル目)

Porzana pusilla

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州中・南西部、四国、九州、沖縄では旅鳥。兵庫県では主に4-5月と10-11月に記録がある。ヨシやマコモなどの広がる池沼や水田周りの草むらに生息し、繁みの間を歩きながら水生昆虫類などを捕食する。

写真なし

国内分布

北海道、本州、粟島、舳倉島、隠岐、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、(姫路市)、(明石市)、(西宮市)、(洲本市)、(伊丹市)、(豊岡市)、(南あわじ市)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要調査に変更。
水辺の繁みを潜行し、飛び立つことがあまりないため、その観察記録は非常に少ない。特に1990年代以降の記録が不十分なため、要調査に変更した。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、本種の主な生息環境であるヨシ原や湿地の保全が必要。